

全力の ちから ～のりこえよう 仲間とともに～

強力な晴れ男、木村裕司運動会実行委員長のパワーで、一点のくもりのない快晴の5月25日運動会が行われた。



「全力」のちから

若いうちに自ら進んでいかに何かに全力で取り組み、心から 涙したり 喜んだり 悔やんだり 苦しんだり したことがあるか否かは、その人の、人生に向かっていく心根を決めるのではないかと思います。

そして、「全力」で取り組んだ時、勝ち負けという結果に左右されることはない。すがすがしい風が吹くだけである。「全力」は他との比較で揺るぐものではないからだ。

そして、その姿は人に感動を与え、こうなりたいという希望になる。

父親という壁、大人という壁、どうしても勝てない相手という壁。いろいろな不自由さを抱えてもがきながら、壁というものを乗り越えようと努力し子どもは大人になっていく。

時代は変容しようが、今の子どもたちも同様である。ただ、寛容をよしとする昨今の若者の方が超えるべき壁や全力で取り組むべきことが見つからず、生きづらいことは確かであるようだ。

やるなら、全力。子どもたちに任せるのなら、最後まで任せる。大人は安易に介入しない。子どもは任せられることで、決定権を与えられることで全力になる。さしのべた手が子どものためになるとは限らない。学校は甘くてはいけない。

保護者の皆様、運動会にお出でいただきありがとうございます。今年度の運動会はいかがでしたでしょうか。子どもたちの「全力」に感動してくださったことと思います。

行進やラジオ体操もきちんとやり遂げたO君、M君。ママを探して満面の笑顔のI君。初めての運動会、元気に頑張ったNさん。キュートなダンスで魅了した小学部のS君、Kさん、Kさん。スローガンをみんなで実現させた中・高等部のみんな何より、今年で最後の高等部3年生。伝統の応援舞の4人の「友情」に感動もひとしおだったことと思います。応援ありがとうございました

学 級 担 任 の 熱 い 思 い

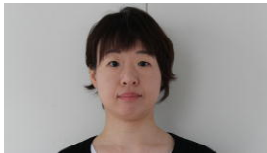
幼稚部3歳児学級 担任 諏訪内 桂子



「ともだち だいすき あそび だいすき おしゃべり だいすき
のびのびにこにこ たんぽぽ組」

友達と関わって、たくさんおしゃべりして、のびのび遊んで欲しい、いつも笑顔と笑い声が絶えないたんぽぽ組であって欲しい、こどもらしい成長を願い、その子のありのままをまずは受け止めて…、そんな想いを込めた学級目標です。

幼稚部 4 歳児学級 担任 松倉 春香



「伝え合う（たくさん話そう。たくさん聞こう。）」

自分の考えや思ったことを相手に伝えるのはもちろん、相手の話に耳を傾けたり、相手の気持ちを考えようとする気持ちを育てるような学級にしたいと思います。また、R君のお母さんとも一緒にたくさん考え、たくさん笑い、3人で様々なことを「伝え合う1年になればと思っています。」

幼稚部 5 歳児学級 担任 亀田 新也



①ひまわり組でがんばること（学級目標）「よくきく、よくみる、よくはなす」

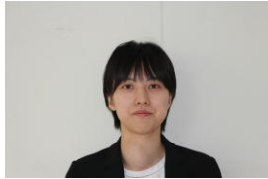
②思い：ひまわり組になったことを大いに喜び、年長児としての自覚を感じる0君。周囲の人と伝え合う喜びを味わってほしいという願いを0君に伝え、「ひまわり組でがんばること」として書いてもらいました。①ができた小学生になれる！と張り切って毎日頑張っています。

小学部 2 年 担任 工藤 幸子



小学部2年の学級目標は「よく見よう！よくきこう！はっきり話そう！」です。どんな学級目標にしたいか考えた際、S君から一番最初に出された言葉が「よく見る」でした。お話や勉強などをよく見て、わかりたいというS君の気持ちが伝わってきました。1人学級ではありますが、いろいろな場面でこの言葉を合言葉にし、たくさんの友達や先生とコミュニケーションが図れるように一年間頑張っていきたいと思います。

小学部 5 年 担任 一戸 知子



5年生の学級目標は、『あきらめない～むずかしいことでもあきらめない～（部活や勉強でできなかったことをできるようにする）』

『やさしい～やさしい高学年になる～（困っている人がいたら助ける。やさしく教える。）』『協力～みんなで協力する～（みんなで協力し合って活動する。）』です。子ども達はまず、小学部の最高学年として、どんな最高学年になりたいか考え、『やさしい』を決めました。

そして、昨年度を振り返りつつ、私の思いを伝えると、『あきらめない気持ち』や『みんなで協力する気持ち』を大切にしたいと、さらに二つの目標を決めました。小学部のリーダーとして考えて行動できるようにすることや今まで学んできたことを再度確認し、できなかったことはできるように、一つずつ身につけ、力にすることを目指したいと思います。

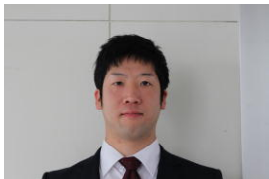
学部 1 年 担任 岩田 智子



初めての制服。初めての行事。初めての寄宿舎生活……。何もかもが初めてだらけの中学部1年生の女子2名。けれど、本当に初めてなのは、これまで一人学級だったのが、二人学級になったこと。仲間ができたこと。まずは学級開きでそのことを話し合いました。そして、どんな学級にしたいのかを二人で話し合いました。楽しい学級にしたい、そのためにどうすればよいか。二人が考えた学級目標は、「ステ

ップアップ（成長）しよう」「一緒に話し合い協力し合って取り組もう！」です。二人の思いは同じ—仲良くしたい、けんかをしない。その思いを大事にしながら担任は思います。時々けんかをしてもいいよ。たくさん悩んでいいよ。仲間がいるから気持ちがぶつかるし、仲間の思いに気づける。そして、一人ではできないこともできる。ステップアップは仲間がいるからできること。一年後の2人の姿が楽しみです。

中学部 3 年 担任 浦田 大地



有言実行～明日の自分は今日創る～

- ・ 苦手を分かるにかえるように勉強しよう
- ・ 笑顔と感謝の気持ちを忘れずにすごそう。
- ・ 最上級生として、後輩の手本となるように自信をもって行動しよう

新年度を迎え、最上級生となり、また、新たに2名の新入生が入学したことにより、昨年度卒業した先輩方の近くにいたことの安心感や頼もしさを実感しました。「今度は自分たちの番だ！」と、これまで先輩達から支えてもらったことや中学部生活を

振り返り、1日一歩ずつなりたい自分に近づくことができるよう、そして「自分たちの未来を自分たちの手で創り上げてみせる」という熱い気持ちをもって、この学級目標を設定しました。

高等部1年 担任 澤頭 紀夫



「全身全霊」

★皆から頼られる、信頼される自分になりたい。皆に優しくいろいろな話ができるようになりたい。自分の仕事をやり通す人になりたい。そのために全身全霊を捧（ささ）げる。(Y)

★その場にあったコミュニケーションを取りたい。責任感のある自分になりたい。最後まで一生懸命やり、早く終わったら手伝える人になりたい。言葉遣いに気を付け態度を良くしたい。そのために全身全霊を注（そそ）ぐ。(M)

★それぞれの人に合わせた対応ができる自分になりたい。何事にも全力で取り組みたい。

大学進学につながる勉強をしていく。そのために全身全霊を傾（かたむ）ける。(T)
全身全霊には、その人の決意が含まれます。それぞれの目標に対して、体も心も動かして、頑張りたいという3人の意思が表れている言葉です。

高等部2年 担任 阿保 孝志朗



「爽やかに 察して動く学級」

昨年度の目標が「謙虚に爽やかに」ということでじっくり取り組む1年間だったので、今年度はもう少し積極的にということで、『空気を読んでスマートに自分から動くことができるよう』にこの目標に決まりました。

ジェントルマンのことですね！

高等部3年1組 担任 吉田 恋



学級目標と生徒の思い

- K 希望をもって・・・最後の1年だから。
S 切磋琢磨・・・励まし合いながら、支え合いながら、お互いにアドバイスし合って楽しく生活したいから。
Y 勇飛（雄飛＋勇氣）・・・雄飛：みんなの前で活躍する姿を見せたい。
勇氣：苦手なことがあっても勇氣を出したい。勇氣をもって活躍

したい。

R リーダーシップ・・・最高学年なので（学校の代表としても）みんな（後輩）を引っ張っていききたい。

☆アルファベットは生徒の名前の頭文字です。

担任としての思い：学級目標を決定するのに長く時間がかかりましたが、その分、4人全員がお互いの意見を受容しながら決めることができました。話し合いの際、4人全員が口にするのは常に「最高学年として」、「最後の1年」という言葉でした。「最高学年として」の「最後の1年」。4人で支え合い協力し合いながら、1年後には最高の卒業を迎えてほしいです。

高等部3年2組 担任 三津谷 星子



学級目標は

「K 希望をもって S 切磋琢磨 Y 勇飛（勇氣＋雄飛）
R リーダーシップ」です。

高3 4人の名前の頭文字から始まる言葉を、意見を出し合って選びました。高等部3年生、最高学年として、学校のリーダーとしてみんなを引っ張っていききたいという思いが込められています。全ての行事や活動が最後ということで、一年間「学校のリーダー」としてみんなを引っ張ってくれることを期待しています。